

# ゆめおり教育フォーラム「熟議～地域運営学校の可能性について～」の記録

開催日時 : 平成23年11月9日(水) 午後6時～午後9時  
 開催場所 : 八王子市立第三小学校

## 1. テーマ

地域運営学校の可能性について

## 2. プログラム

- 18:00 開会
  - 熟議参加者紹介
  - 開会挨拶(石川和昭 教育長)
  - 本市の取り組みと熟議の進め方(説明:学校教育部長)
- 18:40 熟議(4グループに分かれて実施)
- 20:20 熟議結果発表(各グループ5分)
- 20:40 講評(小田原榮 委員長)
- 20:50 閉会

## 3. 熟議の進め方

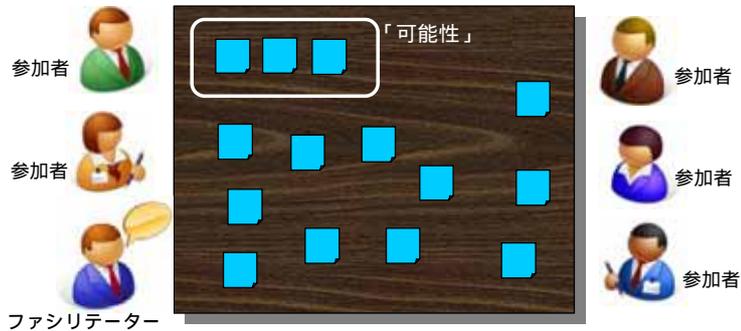
- ・今回は熟議参加者30名を4グループに編成(1グループ7～8名)し、「熟議」を展開。
- ・各グループに教育委員会事務局の部長職1名を配置し、ファシリテーターとして熟議を進行。  
 ファシリテーターとは、会議等において中立な立場から議論を管理し、成果が最大となるように合意形成や相互理解に向けて調整する役割を担う者。

### 《第1ラウンド》

あらかじめ考えてきた「地域運営学校に期待できること」(付箋紙は青色)を自己紹介を兼ねて発表。(各自1分以内)

出された意見をもとに「地域運営学校に期待できること」を整理し、グループとして今回考える題材を一本化するとともに、可能性として位置づける。

《第1ラウンド》  
 「地域運営学校に期待できること」を出しあい、グループとして今回考える「可能性」を一本化する。



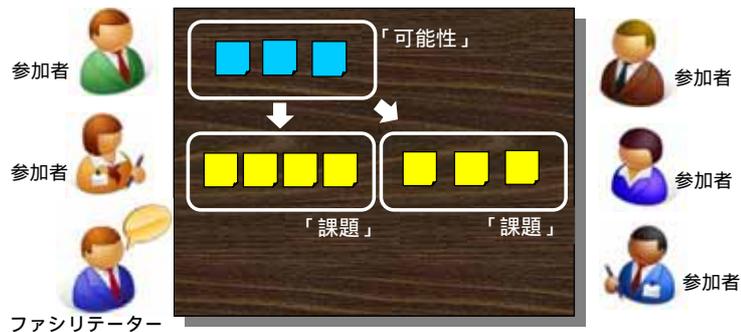
### 《第2ラウンド》

第1ラウンドにて決定した、グループとしての可能性を実現するための課題を付箋紙に書き出す。(付箋紙は黄色)  
 ・1枚の付箋紙に記入できる課題は、1件のみ  
 ・1人複数枚作成可能  
 ・時間は5分程度

記入が終わったところで、その内容を簡単な説明を加えながら発表・提示。

課題が出そろったところで、集まった付箋紙を分類しながら、課題を整理。

《第2ラウンド》  
 「可能性」を実現するための課題を出し合い、共有化する。



### 《第3ラウンド》

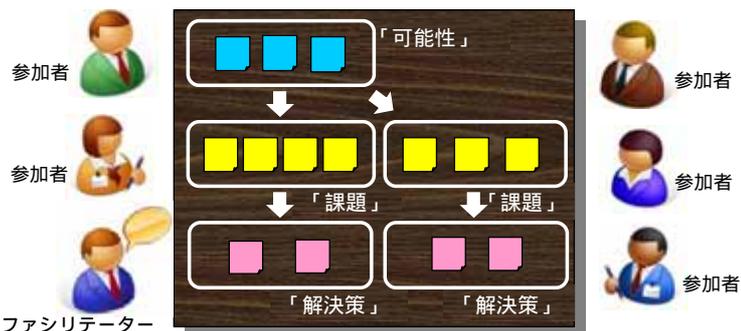
第2ラウンドにて決定したグループとしての課題に対しての解決策を付箋紙に書き出す。(付箋紙はピンク色)  
 ・課題に対して、「自分はこうした」「みんなでこうしましょう」といった具体的な内容を記入。  
 ・1枚の付箋紙に記入できる解決策は、1件のみ  
 ・1人複数枚作成可能  
 ・時間は5分程度

記入が終わったところで、その内容を簡単な説明を加えながら発表・提示。

解決策が出そろったところで、集まった内容を整理し、課題に対する解決策をグループとしてまとめる。

まとめた内容を発表内容として確認し、熟議終了。

《第3ラウンド》  
 課題の「解決策」を出し合い、意見交換する。



### グループ発表

各グループの発表者が熟議結果を発表。(各グループ5分以内)

# 各グループの熟議内容

## 1グループ

[参加者]

教育委員 : 委員長 小田原 榮  
 学校運営協議会 : 梶田小学校 会長 八木 光司 中山小学校 会長 石井 征夫 第六中学校 委員 後藤 貴弓 宮上中学校 会長 川田 昌弘  
 学校長 : 由木中央小学校 校長 飯田 薫 松木中学校 校長 滝澤 雅彦

[ファシリテーター]

学校教育部長 坂倉 仁

[模造紙記録]

学校教育部主幹 山野井 寛之 文化財課長 田島 巨樹

### 地域運営学校に期待すること (付箋紙: 青色)

- ・ゆるぎない学力と、それを支える環境ができる
- ・学力向上の手助け
- ・知識の向上
- ・地域教育力を学校教育に活かせる
- ・地域学校が、ともに教育活動・地域活動に参画することで、共に活性化が期待される
- ・教育に厚みと幅を
- ・校長の学校経営理念、方針を地域の方々が支えることから、学校が組織一体となった運営を行うことが期待できる
- ・地域の人たちが学校運営に主体的に係わる
- ・学校の応援団
- ・学校が地域に積極的に情報提供する(情報開示により地域運営学校協議会への理解を得、行事等に協力してもらう)
- ・学校支援ボランティア(地域住民)の活用を積極的にする(学校の活動に協力して関心を示し教育力向上)
- ・子どもたちの自主・自立の手助け
- ・問題行動を起こす子どもの支援
- ・補充授業や図書館活用で直接支援したり、地域の人材を手配したり、支援活動ができる。
- ・豊かなつながりのある学校を創造できる
- ・真に開かれた学校(地域の核)へ
- ・学校をより開く
- ・地域(自身をとりまく人々)への関心
- ・学校の発展と私たちの学校意識が高まる
- ・学校を軸に地域(コミュニティ)を作る スクール・コミュニティ
- ・地域の活性化
- ・地域の絆を深める
- ・意識改革を求める(学校、家庭、地域社会、企業の大人たちが自分の課題として行動する)
- ・授業に関して、生徒の考えや要望を取り入れることができる
- ・生涯学習の拠点



#### 可能性 (グループテーマ)

地域の教育力を学校に活かせる。  
 地域と学校が共に地域・教育活動に参画することによる、両者の活性化が期待される。

### 課題 (付箋紙: 黄色)

- ・今、学校にとって何が必要なのか明確にしていない
- ・学校の方針、姿勢が地域に正確に伝わらない、あるいは理解されていない
- ・地域へ課題を上手に伝えられない
- ・保護者、地域住民の意識
- ・保護者、地域住民の要求の強さと協力の弱さ
- ・支える実行組織の課題
- ・地域の人材が定着しない、理解不足
- ・地域の教育力を受け入れようとしていない校長を含む教員の意識改革
- ・教員の考え方、地域の方の考え方を結びつける
- ・教職員の協力
- ・校長のリーダーシップ
- ・学校運営協議会委員の選出
- ・小中一貫教育の強化、拡大

### 解決策 (付箋紙: ピンク色)

- ・学校経営計画の明確化、学校からの情報発信
- ・学校に地域の誰もが入ることのできる手立てを工夫する
- ・保護者地域の方々を学校の中に入れる(そのための工夫をする)
- ・地域の特色を活かした体験活動を取り入れる
- ・コーディネーターの活用と補助する人を入れる
- ・教員が地域に出ていく(そのための工夫をする)
- ・教員が地域の行事に多く参加していく(地域活動への参加)

## 2 グループ

### [参加者]

教育委員 : 委員 川上 剋美  
 学校運営協議会 : 陶鎔小学校 副会長 原島 浩美 宮上小学校 会長 関 芽 元八王子中学校 委員 森屋 義政  
 学校長 : 七国小学校 校長 宇都宮 聡 南大沢中学校 校長 門馬 弘

### [ファシリテーター]

学校教育部指導担当部長 佐島 規

### [模造紙記録]

学事課長 海野 千細 国体推進室主幹 高橋 利光

### 地域運営学校に期待すること (付箋紙: 青色)

- ・地域住民の協力
- ・地域人材の活用
- ・地域住民の学校教育への関心を高めることができる
- ・保護者も地域住民の一員としての自覚を持ち、教育活動への参画意識を持てる
- ・保護者とのコミュニケーション
- ・家庭や地域での教育活動(スポーツ、子ども会)の活性化を図ることができる
- ・地域活性の拠点
- ・子どもの見守り
- ・省察による教職員の力量アップ
- ・教員の地域参加
- ・学校が学校として取り組んでいる教育活動の良さを再認識できる
- ・第三者評価の性格を併せ持つ学校関係者評価
- ・意思決定の正確性付与
- ・学力向上
- ・教育委員会が学校への適切な支援をするようになる



**可能性**

(グループテーマ)

構成員間のコミュニケーションと意識の向上  
 教員、保護者、学識経験者

### 課 題 (付箋紙: 黄色)

- 1 意識の共有  
 教員と保護者、保護者間、教員間
  - ・委員としての立場認識
  - ・学校行事への参加、地域行事への参加
  - ・おらがの学校意識
  - ・保護者との交流
  - ・地域の課題の共有
  - ・地域への広報・PR
  - ・専門家(教員)がいかに素人の言葉で、学校の活動を発信できるか。
  - ・保護者・本人の意見を率直に言える雰囲気
  - ・構成員の目標管理プロセスと学校運営とのバランス
  - ・第三者の参画と地域との融合
  - ・学校運営協議会(=学校)の強い発信力
  - ・意思決定の正当性と参画意識の醸成
  - ・誰のための(何のための)地域運営学校か
- 2 場の設定(運営協議会の開催日、時間等の適正化)  
 教員にとって、委員にとって、傍聴者にとって
  - ・教員と委員との交流
  - ・多くの教員を学校運営協議会に参加させるためには
  - ・学校の課題の共有

### 解 決 策 (付箋紙: ピンク色)

- 1 意識の共有  
 教員と保護者、保護者間、教員間
  - ・校長と会長の強力なリーダーシップ
  - ・委員の人選
  - ・学校ごとの運営協議会規則の明確化
  - ・学校のサポーターとしての意識
  - ・学校活動の発信
  - ・わかりやすい言葉での伝達(専門用語を控える)
  - ・教職員を中心とした事務局の設置
  - ・非公式でのコミュニケーション
- 2 場の設定
  - ・運営協議会の開催日、時間等の適正化
  - ・来てもらう工夫
  - ・知ってもらう工夫

### 3 グループ

[参加者]

教育委員 : 委員 和田 孝  
 学校運営協議会 : 浅川小学校 委員 奈良 智昭 下柚木小学校 会長 松下 丈宏 城山中学校 副会長 進藤 丕  
 学校長 : 陶鎔小学校 校長 半田 あつ子 元八王子中学校 校長 田中 史人

[ファシリテーター]

生涯学習スポーツ部長 榎本茂保

[模造紙記録]

統括指導主事 所 夏目 スポーツ振興課長 小山 等

#### 地域運営学校に期待すること (付箋紙: 青色)

特色ある学校づくりの推進

- ・学校経営に保護者の願いや地域の声を反映させ、特色ある学校づくりを推進していく
- ・運営協議会と学校が企画・運営する教育活動(行事や活動)を創造する
- ・地域で放課後の授業運営を行う

子どもに身につけたい力

- ・子どもたちの自尊感情の育成(地域と学校との連携)
- ・小・中学校が連携した学力向上への取り組み
- ・子どもが地域に貢献する姿勢を育成する場としての取り組みを行っていく(大人の姿を見せる場として)
- ・学校の教育目標とは別に、地域運営学校の特色ある目標を独自に掲げて活動(スポーツ、学力向上、郷土愛等)

教員の負担軽減

- ・教員と良好な関係を築き、教員の希望や悩みを解決して負担軽減

教員の意識改革

- ・日常化している教員の教育活動を、保護者ニーズを通じて見直すきっかけとする

健全育成

- ・地域運営学校が連名で健全育成の提言、いじめ・不登校の解決

地域の取り組み

- ・シニアスクール開設(地域の人が学校を活用し学習する)
- ・地域の人材確保
- ・学校運営協議会が学校を使った地域行事を企画し、他の地域行事と一本化の調整役となる



可能性  
(グループテーマ)

特色ある学校づくりの推進

#### 課題 (付箋紙: 黄色)

教職員と学校運営委員の意識改革  
 第三者評価の必要性

教員だけによる教育計画の作成

- ・学校の教育計画が教員だけで作成されているので、地域や保護者も一緒にあって課題を挙げてはどうか

負担が大きい

- ・行事が多彩になり参加者が少なくなる
- ・学校や保護者も負担が大きくなる
- ・学校運営協議会と保護者との考え方の相違があり、保護者は負担が増えたと抵抗感がある
- ・学校の先生が全てのことをコーディネートするのは難しい
- ・コーディネーターが必要

コミュニケーション不足

- ・学校側とのコミュニケーションが充分とれない(事前に協議する場が少ない)
- ・地域運営学校の横のつながりが必要

提案の場がない

- ・協議会委員または委員会としての提案の場がない

子どもと関わる場が少ない

- ・協議会委員と児童・生徒のかかわる場がない(全校・生徒会・学年・学級など)
- ・子どもたちとのふれあいが少ない(授業見学も少ない)
- ・子ども観の相違
- ・イベントでない継続的な活動

予算・資源の確保

- ・学校運営協議会としての予算がないので、講師を呼んでの研修等が出づらい
- ・資源の確保の方法に地域差がある

#### 解決策 (付箋紙: ピンク色)

教職員と学校運営委員の意識改革に向けて  
 予算増額

- ・学校運営協議会の予算
- ・教育予算を保障する

交流の場を増やす

- ・教員との定期的交流会の実施
- ・学校運営協議会の情報交換の場を作る
- ・教員、委員との合同会議の開催

行動連帯「とにかくはじめよう」

- ・教職員の意識改革は、ともに行動するところから進める
- ・地域に顔を売ると、助けてくれる
- ・「会議だけではだめ」

コーディネーターの活用

- ・協議会委員も兼ねると良い
- ・教員囁託員を配置(教員への声かけ)

学校評価に基づく実践

- ・学校運営協議会としての評価に教職員も関わる
- ・成功例、失敗例、改善例の把握、研修等

授業への委員の参加

- ・ゲストティーチャー
- ・委員が授業を参観

小・中連携の学校運営協議会

- ・小・中連携の学校運営協議会を進めていく
- ・もっといいアイデアがでるのではないかな

教員のフレックスタイムの導入

- ・教職員の服務の問題 改善

人材発掘

- ・校長のリーダーシップの元で、委員の人材発掘

○具体例

- ・Tシャツを作って運動会に参加した
- ・教員 - 黄色、PTA - ピンク、学校運営協議会 - 緑
- ... 一体感があった

いちよう祭りに参加

- ・コミュニケーションをとりながらの活動

#### 4 グループ

[参加者]

教育委員 : 委員 金山 滋美 教育長 石川 和昭  
 学校運営協議会 : 東浅川小学校 委員 青木 博明 第一中学校 会長 源原 重行 陵南中学校 会長 塚本 吉紀  
 学校長 : 第三小学校 校長 松井 眞澄 第六中学校 校長 田中 裕之

[ファシリテーター]

生涯学習スポーツ部 参事 望月 正人

[模造紙記録]

統括指導主事 山下 久也 生涯学習総務課長 宮木 高一

地域運営学校に期待すること (付箋紙: 青色)

- ・地域と学校が一体となった子育て
- ・地域共同体ができる
  
- ・次世代を担う人材育成、子育て
  
- ・学校の応援団
  
- ・学校をより開く
  
- ・教員の意識改革
  
- ・地域の絆を深める
- ・学校が地域の核に 地域活動の拠点



**可能性**

(グループテーマ)

- 地域と学校が一体となった子育て
- 地域共同体ができる

課 題 (付箋紙: 黄色)

- 1 教職員の意識改革
  - ・学校や教職員の閉鎖的体質
  - ・先生に地域運営学校に参加している意識が薄い
  - ・地域活動への学校の参加
  - ・教職員の意識統一
  - ・教職員の参画意識の向上
  - ・地域のいろいろなことを知る意欲
  
- 2 学校と地域の相互理解
  - ・学校と地域の相互理解
    - …学校の情報を流すことを積極的にして、意見交換を進める
  - ・学校と地域を相互理解する場と機会の確保 共感、知り合う…
  - ・共に活動する地域(学校)行事の構築
  - ・学校からの情報伝達の徹底
  - ・開くことが目的ではない
  
- 3 学校運営協議会の強化(委員会の活性化)
  - ・学校運営協議会の権限拡大
  - ・学校運営協議会の質・量的限界

解 決 策 (付箋紙: ピンク色)

- 1 教職員の意識改革
  - ・校長のリーダーシップの発揮
  - ・企業や行政での体験活動
  - ・教職員の地域活動等への参加
  - ・柔軟な勤務体制
  - ・教員・委員・地域を交えての研修会
  - ・地域運営学校をよく知る教員の配置
  - ・保護者の意見・考えを集約(アンケート)し学校への提言をする
  
- 2 学校と地域の相互理解
  - ・学校運営協議会主催事業の実施
  - ・地域、保護者が学校に来たくなる機会と場の設定
  - ・地域へアンケート実施
  - ・共に活動する場の設定

実践例  
 異動してきた先生を学校運営協議会委員が案内して、学区を回った
  
- 3 学校運営協議会の強化(委員会の活性化)
  - ・下部組織の検討
  - ・事務局体制の強化(人、物、金)
  - ・事前資料検討の徹底
  - ・多様な曜日、時間等での学校運営協議会の開催
  - ・学校を取り巻く団体の組織化